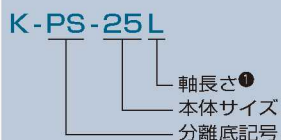
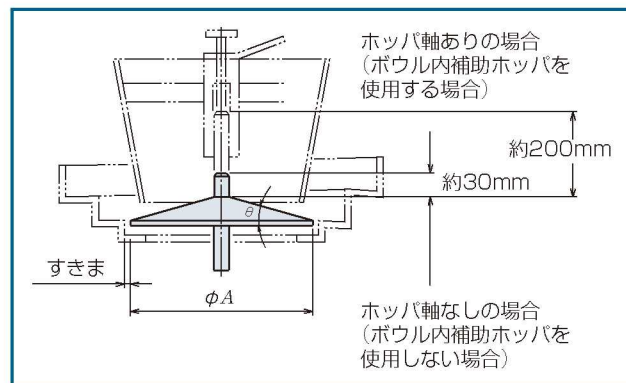


分離底



分離底は、段付きボウルなどの底面中央部をボウルと分離して形成するものです。ボウル内のワークによって回転はしますが、ほとんど振動しない構造になっており、騒音の低下、ワーク損傷の低減、速度むらの減少等に大きな効果を発揮します。制振鋼板を始め各種制振材の採用により、ワーク投入時の騒音を大幅に減少させています。

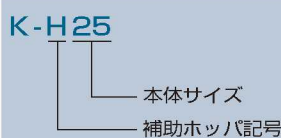
特別にすきまの小さいものを必要とする場合は、その旨をお知らせください。



仕様名称	A (mm)	底角度 θ°	標準すきま (mm)	適用本体	標準材質
K-PS-25 ^S	198.5	15°	1.6	N25	SUSに制振材
K-PS-32 ^L	268	20°	2.0	N32	軟鋼にSUS張り
K-PS-40 ^S	334	15°	2.0	N40	
K-PS-63S	475		4.0	G50/G63	AL鋳物

● S: 短軸, L: 長軸 (ボウル内補助ホッパ用)

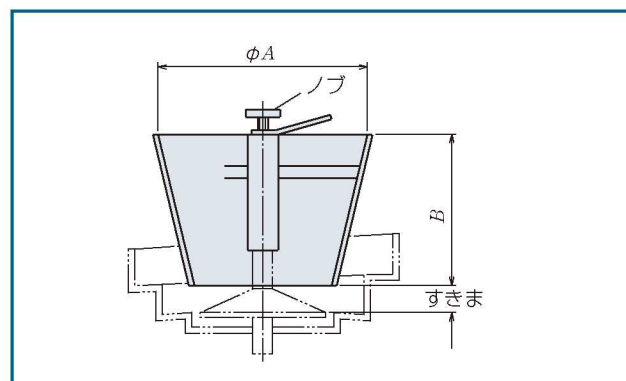
ボウル内補助ホッパ



ボウル内補助ホッパは、分離底の軸を利用してボウル内に取り付けられる小容量のワーク貯蔵ホッパです。通常の別置ホッパのように、余分な床面積を必要としないので供給システムをコンパクトにすることができます。

部品の流出量は、上部ノブを回し、下方のすきまの大きさを調整することにより可能です。

尚、このボウル内補助ホッパは自然流出を利用しているので、絡み易いものや、滑りの悪いワークについては適用できません。この場合は、当社のホッパシリーズをご使用ください。

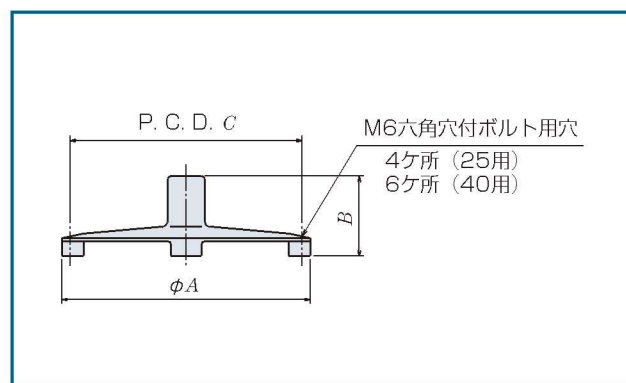


仕様名称	寸法 (mm)		適用本体	標準材質	概略容量 (ℓ)
	A	B			
K-H25	300	200	N25	SUS	7
K-H32	340	230	N32		12
K-H40	430	250	N40		20

固定底



底なしのボウルで分離底が使用できない場合、固定底をご使用ください。一体底ボウルとほぼ同様に取り扱うることができるようになります。



仕様名称	寸法 (mm)			適用本体	標準材質
	A	B	C		
K-PBB-25	200	64	186	N25	AL鋳物にポリウレタンコーティング
K-PBB-40	336	74	320	N40	